

高照度LED照明器 バルケー2 HP 新発売

医療機関向けに、日本初の高照度光療法機器が2017年2月から

すこやかメディカル株式会社(社長:山本晃史)は医療機関向けに、日本初の新型光療法機器、高照度LED照明器「バルケー2 HP」を、2017年2月から発売します。

日常生活において、脳には毎日、適正量の光が必要とされています。しかし、シフト勤務等で昼夜逆転の生活や住環境の悪化によって十分な光を浴びられない人々が増えており、厚生労働省の「健康づくりのための睡眠指針2014」でも朝起床後に、太陽の光を取り入れて体内時計をリセットすることによる、身体とこころの健康づくりが推奨されています。

今回新発売する「バルケー2 HP」は、高照度光療法機器としては我が国で初めて医療機器(クラスI)となったもので、外耳道から脳に10,000ルクス以上の高照度光を照射することによって体内時計をリセットする機器です。本体は小型軽量でありながら、斬新な外耳道から光照射する方式によって効率よく脳を光刺激して、身体とこころの調子を整えるのに用います。

発売の概要

製品名称：高照度LED照明器「バルケー2 HP」

販売予定日：2017年2月1日

主な特長：① 経耳道光照射式の光療法機器

- ② 北欧フィンランドが原産国
- ③ 小型軽量で、持ち運び自在
- ④ スタイリッシュなデザイン



販売の経緯：当社では2012年6月から、主にインターネット通販を通じて、光刺激装置NPT-1100及びバルケー2を販売してきました。これらの機器はフィンランドでは医療機器として認定され、冬季うつ等の治療に用いられてきましたが、我が国では快眠をサポートする健康機器として販売してきました。しかし、睡眠とストレスの関係が次第に明らかになるとともに、2014年6月に労働安全衛生法が改正されてストレスチェックの義務化が行われるようになったことを契機に、特に職場でのメンタルヘルス対策が急務になり、職場での身体とこころの健康管理に期待されています。

<会社概要>

会社名：すこやかメディカル株式会社

設立：2012年3月9日

資本金：1,150万円

代表者：代表取締役 山本晃史

所在地：〒604-8211 京都市中京区六角通室町西入玉蔵町121番地

URL：<http://sukoyaka-med.co.jp>

主要事業：医療機器及び健康機器の企画、設計、開発、製造、輸出入、販売、コンサル

<本件に関するお問い合わせ>

広報担当者：山本 晃史

TEL：075-252-2101 FAX：075-252-2102 E-mail：info@sukoyaka-med.co.jp

用語の追加説明

- ・高照度光療法とは 太陽光、あるいは光特性の似た光を浴びることによって体内時計を調節し、生体リズムを整える治療法のことです。
- ・経耳道光照射とは 通常、ヒトは光を眼から受けて、視神経を通して脳が光を感じています。しかし、フィンランドの Valkee Oy の Juuso Nissila らは 2007 年、マウスを用いた実験中に耳から脳に光を照射することにより脳の挙動に変化が生じることを発見した。その後、この成果をベースに、高照度光療法機器が開発された。
- ・体内時計のリセットとは
ヒトは生体リズムを持っており、そのリズムは 24 時間よりやや長いリズムを刻んでいます。このリズムは朝に太陽の光を浴びることによって、時間のズレを修正しています。このことを体内時計のリセットと呼んでいます。
- ・光とメンタルヘルスとの関係
朝、太陽光を浴びることによって、睡眠ホルモンの「メラトニン」の生成が抑制され、昼間活発に動くための幸せホルモンの「セロトニン」が活性化されます。これらことによって、起床後に目覚めて眠気が少なくなり、昼間に活発に活動できる訳です。さらに、朝の光を浴びた後、14~16 時間経過すると、セロトニンはメラトニンにバトンタッチし、眠りの準備が行われます。したがって、この切り替えがスムーズに行われないと、睡眠が十分に取れなくなり、脳や身体の疲労が蓄積されて、健康に問題を生じてくる場合が出てくるのです。